

## 三宅島

### 概況(平成14年6月)

15日に小規模な噴火が発生し、島内で微量の降灰を確認しました。1、2日に発生した振幅のやや大きな微動では島内で震度1を、24日に発生した山頂直下の地震では震度2を観測しましたが、噴煙等の状況に異常はみられませんでした。三宅島の収縮を示す地殻変動は、長期的には鈍化傾向にあります。

火山活動は全体として低下傾向にありますが、今後も小規模な噴火は発生する可能性があります。

山頂火口からの二酸化硫黄の放出量は、長期的には減少傾向にありますが、依然として高い値です。風下では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも引き続き注意が必要です。

### 火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第303号 (1日2回発表)	1日 09:30	噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・ 地殻変動の状況、上空からの観測結果、 及び上空の風・火山ガスの移動予想  第332号は小規模噴火の発生
	火山観測情報第331号	15日 16:30	
	火山観測情報第332号	15日 17:20	
	火山観測情報第333号 (1日2回発表)	16日 09:30	
	火山観測情報第362号	30日 16:30	

### 火山ガス噴出活動及び火口内の温度の状況

天候不良のため、今期間は二酸化硫黄の放出量と火口内の観測は実施できませんでした。

### 噴煙活動の状況

15日16時19分頃に小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が、火口上500mまで上がるのを観測しました。また、島の北東側で、この噴火によるものとみられる微量の降灰を確認しました。小規模な噴火の発生は、本年4月16日以来です。

白色の噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口上800m(9日)でした。

### 地震活動状況

24日16時17分に山頂直下を震源とする地震が発生し、三宅村神着で震度2を、三宅村坪田で震度1を観測しました。それ以外は、山頂直下の地震活動は低い状態でした。

微動回数が時折やや多い状態となり、中には振幅の小さい空振を伴うものもありました。このうち、15日16時18分に発生した微動は、小規模な噴火に関係するものと思われます。また、1日18時37分、2日15時10分に発生した振幅のやや大きな微動では、ともに三宅村神着で震度1を観測しましたが、表面現象等には、特に異常はみられませんでした。

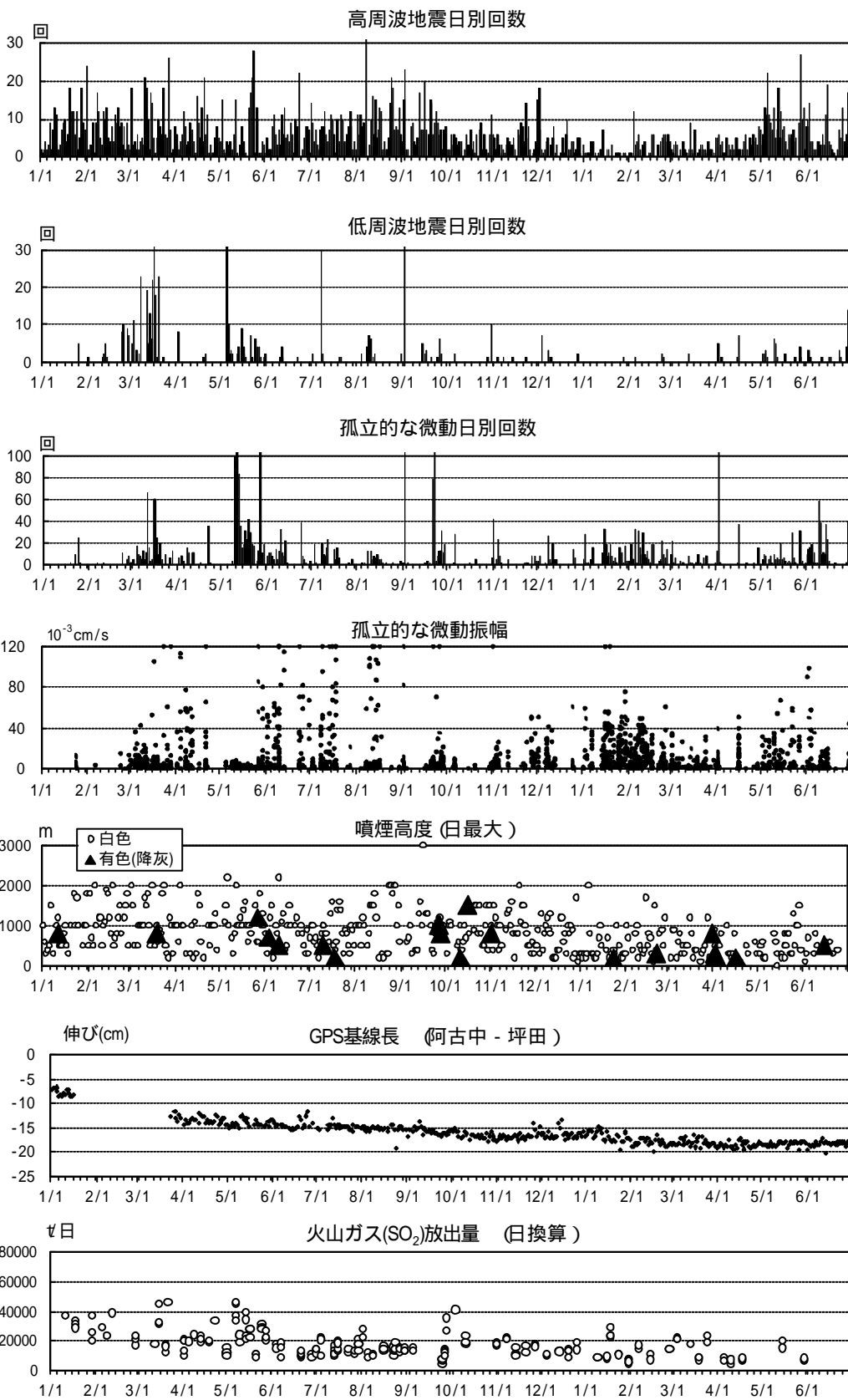
### 地殻変動の状況

GPSによる地殻変動観測によると、三宅島の収縮を示す地殻変動は、長期的には鈍化傾向にあります。

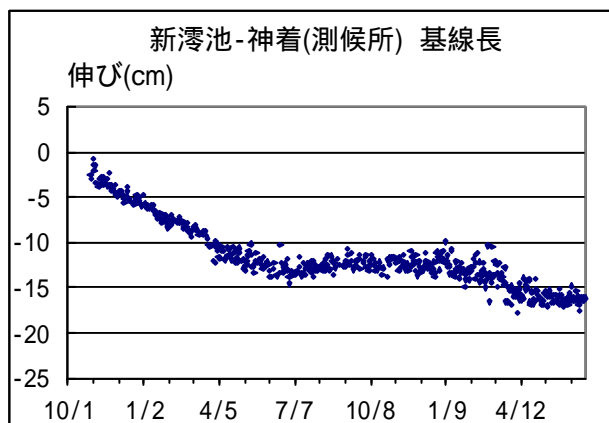
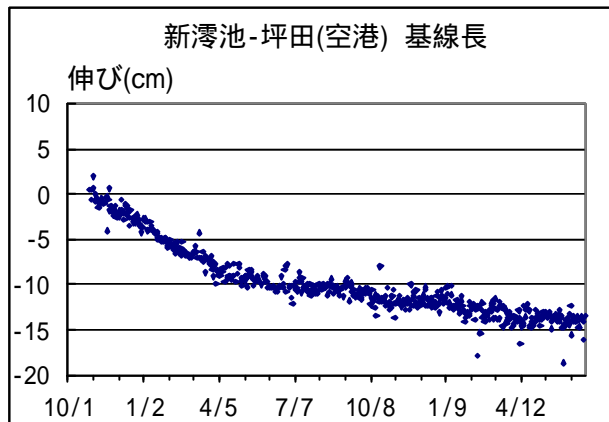
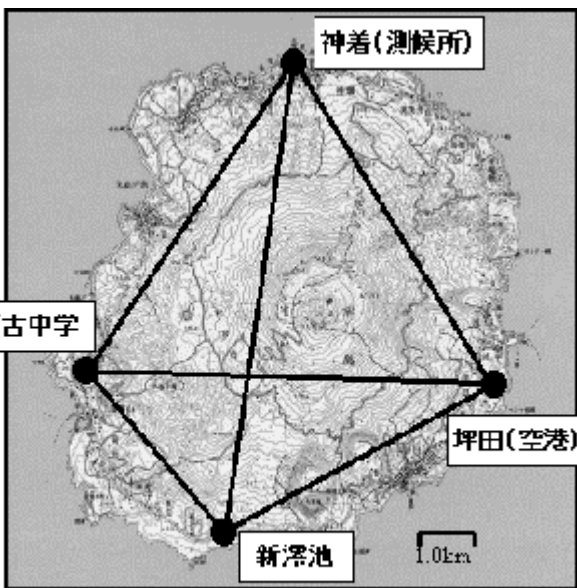
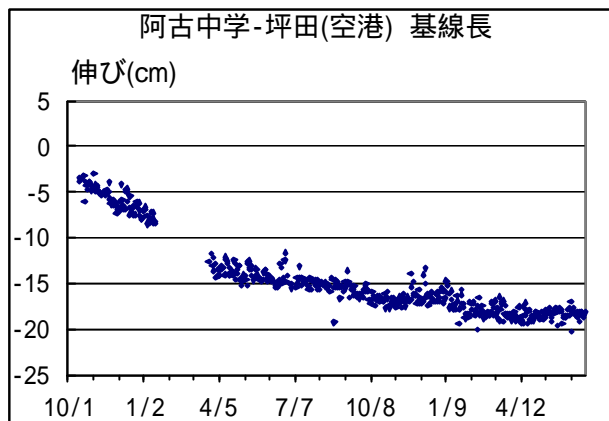
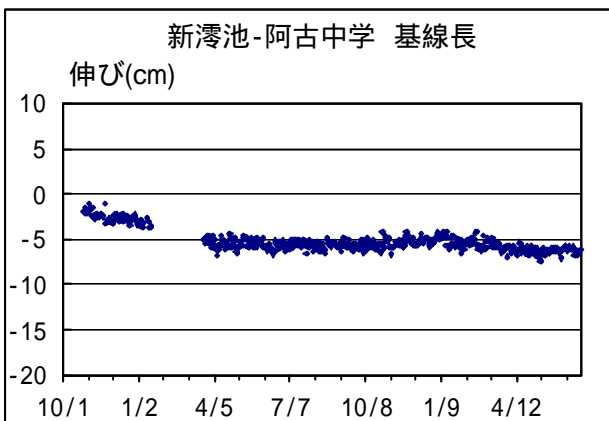
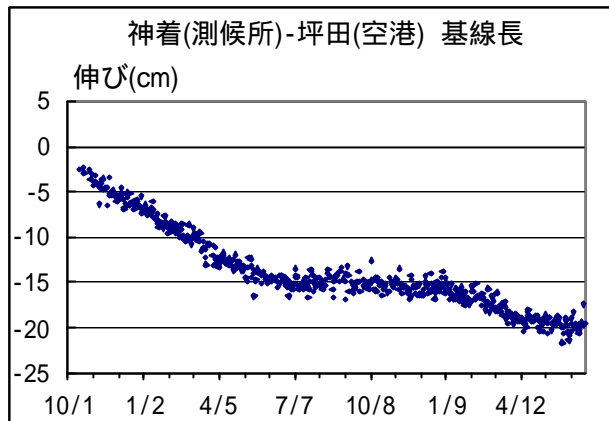
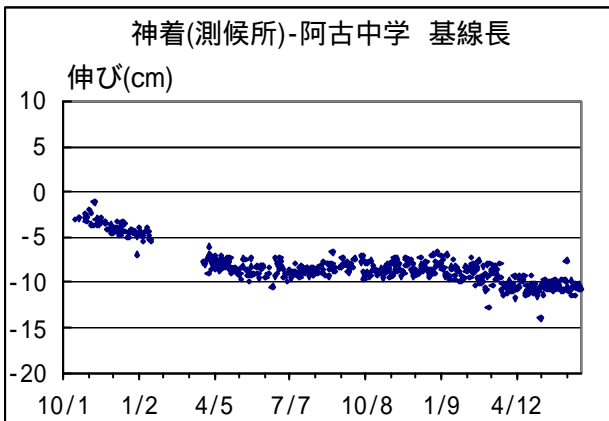
火山性地震・微動日別回数表(三宅島)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	10	14	4	4	2	2	4	4	3	3	50	
低周波地震	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
微動	9	14	16	18	2	11	1	1	59	38	169	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	6	3	11	19	4	3	2	1	1	0	50	
低周波地震	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	
微動	9	11	9	37	23	3	0	0	0	1	93	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	2	7	5	13	4	4	6	17	11	7	76	176
低周波地震	0	0	3	1	0	0	0	4	14	3	25	32
微動	0	0	0	0	0	0	0	2	40	1	43	305





三宅島火山活動経過図(2001年1月1日~2002年6月30日)



基線長の変化には季節的な変動が含まれている可能性がある。  
2002年1月以降に見られる収縮傾向の加速的变化は火山活動の変化によるものではないと考えている。

三宅島GPS(オンライン)観測結果(2000年10月1日~2002年6月30日)